

TZ 〈ほんの窓〉

第44号(2017.6.12) 一橋大学附属図書館高本善四郎氏助成図書コーナー「本の紹介」班

🇹🇷 **ブックトーク・著者が語る『トルコ現代史』** 🇹🇷

理念の共和国が辿った現実的な道のり

関連図書展示

1923年にムスタファ・ケマルによって建国されたトルコ共和国は、西洋をモデルとした近代化・文明化の達成をその理念としました。しかし、この理念とトルコ共和国の現実との間には大きな隔たりがあり、その後の為政者たちは理念を意識しつつもより現実に応じた国家運営を行ってきました。トルコの現実を最も具現化している政治家がエルドアン現大統領です。

7月3日のブックトークでは『トルコ現代史』の著者ととも、理念のケマルと現実のエルドアンを対比しつつ、トルコ共和国の94年の歴史を振り返ります。

本展示では、ブックトーク配付資料の文献リストの中から、図書館で所蔵する日本語図書を紹介します。

ご参加
お待ちしております！

ブックトーク・著者が語る『トルコ現代史』

理念の共和国が辿った現実的な道のり

- 日時：2017年7月3日(月)17:15～ (16:45開場・受付開始)
- 会場：附属図書館会議室(時計台棟1階)
- 講師：今井宏平氏(ジェトロ・アジア経済研究所 地域研究センター 中東研究グループ)
- お申込：以下のフォームよりお申込ください
(参加無料、当日参加も可能です)

<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/60/>

お申込はこちら→



請求記号順 / ★はブックトーク講師の著作です

No	著者名・書名・出版情報 (斜体字は講師が参考文献に選んだ論文・章のタイトルです)	請求記号
<テキスト>		
1	★ 『トルコ現代史：オスマン帝国崩壊からエルドアンの時代まで』 今井宏平著. 中央公論新社, 2017. (中公新書 2415)	0800:25:2415
<内政を知る>		
2	『イスタンブールを愛した人々：エピソードで綴る激動のトルコ』 松谷浩尚著. 中央公論新社, 1998. (中公新書 1408)	0800:25:1408
3	『トルコ民族の世界史』 坂本勉著. 慶應義塾大学出版会, 2006.	2200:249
4	『テュルクを知るための61章』 小松久男編. 明石書店, 2016. (エリア・スタディーズ 148)	2200:369
5	『トルコ近現代史：イスラム国家から国民国家へ』 新井政美著. みすず書房, 2001.	2270:30
6	『オスマン帝国はなぜ崩壊したのか』 新井政美著. 青土社, 2009.	2270:142
7	『トルコを知るための53章』 大村幸弘ほか編著. 明石書店, 2012. (エリア・スタディーズ 95)	2270:158
8	『イスラムと近代化：共和国トルコの苦闘』 新井政美編著. 講談社, 2013. (講談社選書メチエ 541)	2270:166
9	★ 『中東の新たな秩序』 松尾昌樹ほか編著. ミネルヴァ書房, 2016. より 今井宏平「トルコ：新自由主義・親イスラーム政党・秩序安定化外交」	2270:196
10	『トルコ：中東情勢のカギをにぎる国』 内藤正典著. 集英社, 2016.	2270:197
11	『納得しなかった男：エンヴェル・パシャ 中東から中央アジアへ』 山内昌之著. 岩波書店, 1999.	2800:712



No	著者名・書名・出版情報 (斜体字は講師が参考文献に選んだ論文・章のタイトルです)	請求記号
<内政を知る>		
12	『ケマル・アタテュルク：トルコ国民の父』設楽國廣著. 山川出版社, 2016. (世界史リブレット人 86)	2800:2235:86
13	『現代トルコの民主政治とイスラーム』澤江史子著. ナカニシヤ出版, 2005.	3120:890
14	『現代トルコの政治と経済：共和国の85年史(1923-2008)』イルテル・エルトゥールル著. 世界書院, 2011.	3120:1275
15	★『現代中東を読み解く：アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』後藤晃ほか編著. 明石書店, 2016. より 今井宏平「トルコ：創造的破壊者としての公正発展党」	3120:1579
16	『現代トルコにおける政治的変遷と政党1938～2011：政治エリートの実証分析の視点から』宮下陽子著. 学術出版会, 2012.	3120:1620
17	『クルド・国なき民族のいま』勝又郁子著. 新評論, 2001.	3160:1233
18	★『中東とISの地政学：イスラーム、アメリカ、ロシアから読む21世紀』山内昌之編著. 朝日新聞出版, 2017. (朝日選書 956) より 今井宏平「トルコにおける「IS」の活動」	3160:1234
19	『中東国際関係史研究：トルコ革命とソビエト・ロシア1918-1923』山内昌之著. 岩波書店, 2013.	3190:2820A
20	『震災の公共人類学：揺れとともに生きるトルコの人びと』木村周平著. 世界思想社, 2013.	3690:1686
21	『中東現代史 1. トルコ・イラン・アフガニスタン』永田雄三ほか著. 山川出版社, 1982. (世界現代史 11)	Qc:130:11
22	『アジア研ワールド・トレンド』2017年3月号より 間寧「分析レポート 浸透と排除：トルコにおけるクーデタ未遂とその後」 http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Periodicals/W_trend/201703.html	新着雑誌コーナー ZB:332
<外交を知る>		
23	『シリア情勢：終わらない人道危機』青山弘之著. 岩波書店, 2017. (岩波新書 新赤版 1651)	0800:33:新赤1651
24	『難民問題：イスラム圏の動揺、EUの苦悩、日本の課題』墓田桂著. 中央公論新社, 2016. (中公新書 2394)	0800:25:2394
25	『欧州複合危機：苦悶するEU、揺れる世界』遠藤乾著. 中央公論新社, 2016. (中公新書 2405)	0800:25A:2405
26	『アルメニア近現代史：民族自決の果てに』吉村貴之著. 東洋書店, 2009. (ユーラシア・ブックレット 142)	2380:95:142
27	『複合民族国家キプロスの悲劇』大島直政著. 新潮社, 1986. (新潮選書)	3120:508
28	『中東地域秩序の行方：「アラブの春」と中東諸国の対外政策』土屋一樹編著. 日本貿易振興機構アジア経済研究所, 2013. より 岩坂将充「『アラブの春』をめぐるトルコの対外政策：経済・安全保障環境の変化と中東地域秩序の今後」	3120:1423
29	『混迷するシリア：歴史と政治構造から読み解く』青山弘之著. 岩波書店, 2012.	3120:1428
30	『アッラーのヨーロッパ：移民とイスラム復興』内藤正典著. 東京大学出版会, 1996.	3160:97A
31	『「イスラーム国」の脅威とイラク』吉岡明子ほか編. 岩波書店, 2014.	3160:1198
32	『近代日本とトルコ世界』池井優ほか編. 勁草書房, 1999.	3190:2908
33 34	『幻の同盟：冷戦初期アメリカの中東政策』上, 下. 小野沢透著. 名古屋大学出版会, 2016.	3190:3025:上 3190:3025:下
35	★『中東秩序をめぐる現代トルコ外交：平和と安定の模索』今井宏平著. ミネルヴァ書房, 2015.	3190:3071
36	★『変容する地球社会と平和への課題』西海真樹ほか編著. 中央大学出版部, 2016. より 今井宏平「新興国の人道外交：トルコの取り組みを事例として」	3190:3072
37	『サイクス=ピコ協定百年の呪縛：中東大混迷を解く』池内惠著. 新潮社, 2016. (新潮選書)	3190:3073
38	『EU拡大のフロンティア：トルコとの対話』八谷まち子編著. 信山社出版, 2007.	3337:86
39	『ドイツ在住トルコ系移民の文化と地域社会：社会的統合に関する文化人類学的研究』石川真作著. 立教大学出版会, 2012.	3344:256
40	★『難民問題と人権理念の危機：国民国家体制の矛盾』明石書店, 2017. (移民・ディアスポラ研究 6) より 今井宏平「難民問題の「矛盾」とトルコの政治・外交：ソフトパワー・負担・切り札」	3344:332

